

民間事業者による対象公共サービスの実施状況

林野庁国有林野部業務課
平成26年7月31日

1 対象公共サービスの事業名

国有林の間伐事業(23年度契約分)

2 対象公共サービスの内容

間伐 適切な選木、伐採率で立木を抜き切りすることにより、残存立木の成長を促し、健全な森林を造成。路網と林業機械等を合理的に組み合わせた作業システムによる効率的で低コストな間伐、造材及び搬出等の実施。

路網整備 壊れにくく耐久性があり、開設及び管理コストも低廉な路網整備の実施。

事業全体の企画立案、進行管理等 適切な事業計画の策定及び進行管理による間伐及び路網整備の円滑かつ安全な実施。

3 確保すべき対象公共サービスの質の確保の状況

	平成25年4月～平成26年3月		
	確保すべき対象公共サービスの質	実績	実績の測定時期
(北海道森林管理局上川中部森林管理署):三津橋産業・上士別林業共同事業体			
間伐の実施方法	伐採率を遵守し林分全体として偏りのない適切な立木密度を確保すること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
残存木の保全	残存木に対する保全措置を実施すること	提案どおり	〃
作業システム	低コストで効率的な間伐を実施するための作業システムが構築、実施されていること	提案どおり	〃
路線計画	地形条件等を踏まえ、低コストで耐久性の高い路線計画が作成され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
路線開設	適切な施工上の工夫が検討され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
労働生産性	数値目標が達成されていること (目標:6.0m3/人・日)	標準程度 (実績:2.5m3/人・日)	年度末 (検査時に確認)
技術の向上	作業員の技術向上を目的とした技術指導等が実施されていること	提案どおり	〃
間伐材の利用促進	径級、曲がり等に応じた適切な造材、選別が行われていること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
工程管理	年度別数量計画に基づく進行管理が行われていること(計画:1,750m3)	提案どおり (実績:2,090m3)	〃
自然環境への配慮	作業時の周辺環境の保全や開設路網の維持管理が適切に行われていること	提案どおり	〃
安全対策	作業時の安全確保の取組が適切に実施されていること	提案どおり	〃

(注記事項)
○「労働生産性」は、年度当初に残雪が多かったこと等により、企画提案されていた目標は下回ったが、期限内に予定人員で事業が完了しており、標準仕様書等のレベルにある。

(北海道森林管理局日高南部森林管理署): 王木林材株式会社富川出張所

間伐の実施方法	伐採率を遵守し林分全体として偏りのない適切な立木密度を確保すること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
残存木の保全	残存木に対する保全措置を実施すること	提案どおり	〃
作業システム	低コストで効率的な間伐を実施するための作業システムが構築、実施されていること	提案どおり	〃
路線計画	地形条件等を踏まえ、低コストで耐久性の高い路線計画が作成され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
路線開設	適切な施工上の工夫が検討され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
労働生産性	数値目標が達成されていること (目標: 5. 5m ³ /人・日)	提案を下回るが標準以上 (実績: 4. 9m ³ /人・日)	年度末 (検査時に確認)
技術の向上	作業員の技術向上を目的とした技術指導等が実施されていること	提案どおり	〃
間伐材の利用促進	径級、曲がり等に応じた適切な造材、選別が行われていること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
工程管理	年度別数量計画に基づく進行管理が行われていること(計画: 1,755m ³)	提案どおり (実績: 1,658m ³)	〃
自然環境への配慮	作業時の周辺環境の保全や開設路網の維持管理が適切に行われていること	提案どおり	〃
安全対策	作業時の安全確保の取組が適切に実施されていること	提案どおり	〃

(注記事項)

○「労働生産性」は、企画提案されていた目標を下回るが、従来実績(5.0m³/人・日)と同程度であり、標準仕様書等のレベルは超えている。
○「工程管理」は、平成25年度計画量は下回ったが、全体計画量を上回っている(105%)。

(東北森林管理局三八上北森林管理支署): 有限会社山崎木材

間伐の実施方法	伐採率を遵守し林分全体として偏りのない適切な立木密度を確保すること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
残存木の保全	残存木に対する保全措置を実施すること	提案どおり	〃
作業システム	低コストで効率的な間伐を実施するための作業システムが構築、実施されていること	提案どおり	〃
路線計画	地形条件等を踏まえ、低コストで耐久性の高い路線計画が作成され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
路線開設	適切な施工上の工夫が検討され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
労働生産性	数値目標が達成されていること (目標: 6. 0m ³ /人・日)	標準程度 (実績: 4. 2m ³ /人・日)	年度末 (検査時に確認)
技術の向上	作業員の技術向上を目的とした技術指導等が実施されていること	提案どおり	〃
間伐材の利用促進	径級、曲がり等に応じた適切な造材、選別が行われていること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
工程管理	年度別数量計画に基づく進行管理が行われていること(計画: 6,800m ³)	標準程度 (実績: 4,112m ³)	〃
自然環境への配慮	作業時の周辺環境の保全や開設路網の維持管理が適切に行われていること	提案どおり	〃
安全対策	作業時の安全確保の取組が適切に実施されていること	提案どおり	〃

(注記事項)

○「労働生産性」は、事業箇所の小径木等が多く想定よりも歩留まりが悪かったこと等により、企画提案されていた目標は下回ったが、標準仕様書等のレベルにある。
○「工程管理」は、平成25年度計画量は下回ったが、予定箇所の間伐は完了しており、標準仕様書等のレベルにある。

(東北森林管理局山形森林管理署最上支署):北日本索道株式会社

間伐の実施方法	伐採率を遵守し林分全体として偏りのない適切な立木密度を確保すること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
残存木の保全	残存木に対する保全措置を実施すること	提案どおり	〃
作業システム	低コストで効率的な間伐を実施するための作業システムが構築、実施されていること	提案どおり	〃
路線計画	地形条件等を踏まえ、低コストで耐久性の高い路線計画が作成され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
路線開設	適切な施工上の工夫が検討され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
労働生産性	数値目標が達成されていること (目標:7.5m ³ /人・日)	提案を下回るが標準以上 (実績:5.6m ³ /人・日)	年度末 (検査時に確認)
技術の向上	作業員の技術向上を目的とした技術指導等が実施されていること	提案どおり	〃
間伐材の利用促進	径級、曲がり等に応じた適切な造材、選別が行われていること	提案を下回るが標準以上	通年 (監督、検査時に確認)
工程管理	年度別数量計画に基づく進行管理が行われていること(計画:6,850m ³)	提案を下回るが標準以上 (実績:6,434m ³)	〃
自然環境への配慮	作業時の周辺環境の保全や開設路網の維持管理が適切に行われていること	提案どおり	〃
安全対策	作業時の安全確保の取組が適切に実施されていること	提案どおり	〃

(注記事項)

○「労働生産性」は、目標を下回ったが、従来実績(3.5m³/人・日)を上回っており、標準仕様書等のレベルは超えている。
○「間伐材の利用促進」は、丸太の長さにバラツキがあったが、適切な採材を行っており、標準仕様書等のレベルは超えている。
○「工程管理」は、計画を下回ったが、予定箇所の間伐は完了し平成25年度計画量もほぼ確保されており、標準仕様書等のレベルは超えている。

(関東森林管理局棚倉森林管理署):奥久慈林業協同組合

間伐の実施方法	伐採率を遵守し林分全体として偏りのない適切な立木密度を確保すること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
残存木の保全	残存木に対する保全措置を実施すること	提案どおり	〃
作業システム	低コストで効率的な間伐を実施するための作業システムが構築、実施されていること	提案どおり	〃
路線計画	地形条件等を踏まえ、低コストで耐久性の高い路線計画が作成され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
路線開設	適切な施工上の工夫が検討され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
労働生産性	数値目標が達成されていること (目標:3.5m ³ /人・日)	提案どおり (実績:4.2m ³ /人・日)	年度末 (検査時に確認)
技術の向上	作業員の技術向上を目的とした技術指導等が実施されていること	提案どおり	〃
間伐材の利用促進	径級、曲がり等に応じた適切な造材、選別が行われていること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
工程管理	年度別数量計画に基づく進行管理が行われていること(計画:1,681m ³)	提案どおり (実績:4,281m ³)	〃
自然環境への配慮	作業時の周辺環境の保全や開設路網の維持管理が適切に行われていること	提案どおり	〃
安全対策	作業時の安全確保の取組が適切に実施されていること	提案どおり	〃

(注記事項)

(中部森林管理局中信森林管理署):横山木材有限会社

間伐の実施方法	伐採率を遵守し林分全体として偏りのない適切な立木密度を確保すること	提案を下回るが標準以上	通年 (監督、検査時に確認)
残存木の保全	残存木に対する保全措置を実施すること	提案どおり	〃
作業システム	低コストで効率的な間伐を実施するための作業システムが構築、実施されていること	提案どおり	〃
路線計画	地形条件等を踏まえ、低コストで耐久性の高い路線計画が作成され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
路線開設	適切な施工上の工夫が検討され、施工に反映されていること	提案を下回るが標準以上	〃
労働生産性	数値目標が達成されていること (目標:3.5m ³ /人・日)	提案どおり (実績:4.2m ³ /人・日)	年度末 (検査時に確認)
技術の向上	作業員の技術向上を目的とした技術指導等が実施されていること	提案を下回るが標準以上	〃
間伐材の利用促進	径級、曲がり等に応じた適切な造材、選別が行われていること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
工程管理	年度別数量計画に基づく進行管理が行われていること(計画:1,500m ³)	提案を下回るが標準以上 (実績:2,024m ³)	〃
自然環境への配慮	作業時の周辺環境の保全や開設路網の維持管理が適切に行われていること	提案どおり	〃
安全対策	作業時の安全確保の取組が適切に実施されていること	提案どおり	〃

(注記事項)

○「間伐の実施方法」は、企画提案されていた搬出間伐からやむを得ず存置型間伐に変更する場合に監督員との協議が遅れた箇所があったが、列状間伐箇所はコンパス測量にて伐採幅を確認されており、標準仕様書等のレベルは超えている。
○「路線開設」は、企画提案されていた土砂の流出、路面の荒廃を防ぐ水切り施工がなかったが、現地資材を使用しての排水処理がされており、標準仕様書等のレベルは超えている。
○「技術の向上」は、企画提案されていた外部研修への参加はなかったが、社内での技術指導は実施されており、標準仕様書等のレベルは超えている。
○「工程管理」は、企画提案されていた搬出間伐から存置型間伐へ変更されたが、平成25年度の間伐計画量を上回っており、標準仕様書等のレベルは超えている。

(中部森林管理局飛騨森林管理署):白鳥林工協業組合

間伐の実施方法	伐採率を遵守し林分全体として偏りのない適切な立木密度を確保すること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
残存木の保全	残存木に対する保全措置を実施すること	提案どおり	〃
作業システム	低コストで効率的な間伐を実施するための作業システムが構築、実施されていること	提案どおり	〃
路線計画	地形条件等を踏まえ、低コストで耐久性の高い路線計画が作成され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
路線開設	適切な施工上の工夫が検討され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
労働生産性	数値目標が達成されていること (目標:4.5m ³ /人・日)	提案を下回るが標準以上 (実績:3.9m ³ /人・日)	年度末 (検査時に確認)
技術の向上	作業員の技術向上を目的とした技術指導等が実施されていること	提案どおり	〃
間伐材の利用促進	径級、曲がり等に応じた適切な造材、選別が行われていること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
工程管理	年度別数量計画に基づく進行管理が行われていること(計画:1,500m ³)	提案どおり (実績:2,441m ³ /人・日)	〃
自然環境への配慮	作業時の周辺環境の保全や開設路網の維持管理が適切に行われていること	提案どおり	〃
安全対策	作業時の安全確保の取組が適切に実施されていること	提案どおり	〃

(注記事項)

○「労働生産性」は、企画提案されていた目標を下回るが、当事業の3カ年平均(4.3m³/人・日)では従来実績を超えており、標準仕様書等のレベルは超えている。

(近畿中国森林管理局岡山森林管理署):岡山県森林組合連合会

間伐の実施方法	伐採率を遵守し林分全体として偏りのない適切な立木密度を確保すること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
残存木の保全	残存木に対する保全措置を実施すること	提案どおり	〃
作業システム	低コストで効率的な間伐を実施するための作業システムが構築、実施されていること	提案どおり	〃
路線計画	地形条件等を踏まえ、低コストで耐久性の高い路線計画が作成され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
路線開設	適切な施工上の工夫が検討され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
労働生産性	数値目標が達成されていること (目標:6.0m ³ /人・日)	提案どおり (実績:7.1m ³ /人・日)	年度末 (検査時に確認)
技術の向上	作業員の技術向上を目的とした技術指導等が実施されていること	提案どおり	〃
間伐材の利用促進	径級、曲がり等に応じた適切な造材、選別が行われていること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
工程管理	年度別数量計画に基づく進行管理が行われていること(計画:1,300m ³)	提案どおり (実績:1,730m ³)	〃
自然環境への配慮	作業時の周辺環境の保全や開設路網の維持管理が適切に行われていること	提案どおり	〃
安全対策	作業時の安全確保の取組が適切に実施されていること	提案どおり	〃

(注記事項)

(九州森林管理局北薩森林管理署):株式会社永田林業

間伐の実施方法	伐採率を遵守し林分全体として偏りのない適切な立木密度を確保すること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
残存木の保全	残存木に対する保全措置を実施すること	提案どおり	〃
作業システム	低コストで効率的な間伐を実施するための作業システムが構築、実施されていること	提案どおり	〃
路線計画	地形条件等を踏まえ、低コストで耐久性の高い路線計画が作成され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
路線開設	適切な施工上の工夫が検討され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
労働生産性	数値目標が達成されていること (目標:6.0m ³ /人・日)	提案どおり (実績:10.2m ³ /人・日)	年度末 (検査時に確認)
技術の向上	作業員の技術向上を目的とした技術指導等が実施されていること	提案どおり	〃
間伐材の利用促進	径級、曲がり等に応じた適切な造材、選別が行われていること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
工程管理	年度別数量計画に基づく進行管理が行われていること(計画:2,430m ³)	提案どおり (実績:1,856m ³)	〃
自然環境への配慮	作業時の周辺環境の保全や開設路網の維持管理が適切に行われていること	提案どおり	〃
安全対策	作業時の安全確保の取組が適切に実施されていること	提案どおり	〃

(注記事項)

○「工程管理」については、平成25年度計画量は下回ったが、期限内に事業が完了し全体の計画量をほぼ達成している(97%)。

- (注記事項)
1. 実績欄の記述内容については以下を参照。
- ・「提案どおり」: 企画提案どおり又はそれ以上の実施状況となっているもの。
 - ・「提案を下回るが標準以上」: 標準仕様書等のレベルは超えているものの、企画提案のレベルには到達していないもの。
 - ・「標準程度」: 標準仕様書等のレベルにあるもの。
2. 当該実績は、平成25年度の実施状況である。

4 対象公共サービスの実施に要した経費(税抜)		
(北海道森林管理局上川中部森林管理署):三津橋産業・上士別林業共同事業体		
支払額		31,256千円
(参考)契約額	(3力年分)	97,500千円
(北海道森林管理局日高南部森林管理署):王木林材株式会社		
支払額		26,325千円
(参考)契約額	(3力年分)	82,500千円
(東北森林管理局三八上北森林管理署):有限会社山崎木材		
支払額		70,412千円
(参考)契約額	(3力年分)	134,516千円
(東北森林管理局山形森林管理署最上支署):北日本索道株式会社		
支払額		91,932千円
(参考)契約額	(3力年分)	139,791千円
(関東森林管理局棚倉森林管理署):奥久慈林業協同組合		
支払額		45,721千円
(参考)契約額	(3力年分)	141,100千円
(中部森林管理局中信森林管理署):横山木材有限会社		
支払額		8,513千円
(参考)契約額	(3力年分)	90,655千円
(中部森林管理局飛騨森林管理署):白鳥林工協業組合		
支払額		20,614千円
(参考)契約額	(3力年分)	70,142千円
(近畿中国森林管理局岡山森林管理署):岡山県森林組合連合会		
支払額		30,405千円
(参考)契約額	(3力年分)	89,396千円
(九州森林管理局北薩森林管理署):株式会社永田林業		
支払額		14,455千円
(参考)契約額	(3力年分)	49,431千円

(注記事項)

支払額は、平成25年度中に支払われた金額の総額。